

令和 7 年度事業の取組状況

【拡充】認知症施策推進事業（「知って安心認知症」-「とうきょう認知症ナビ」の全面リニューアル）

「知って安心認知症」のリニューアル

令和7年度予算額：18,216千円

- 「新しい認知症観」を基本コンセプトにイラストや文言を見直し、最新の情報を反映
- 認知症のある当事者・家族のご意見をいただきながら当事者の視点を反映
- アルツハイマー型以外の認知症や若年性認知症等、認知症のある人には様々な状況、困りごとがあることを説明
- 同時期にリニューアルを行う「とうきょう認知症ナビ」と連携
- 東京都健康長寿医療センターの協力を受け、検討・リニューアル

認知症の人にやさしいまち 東京を目指して

知って安心
認知症

- 認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です.....1ページ
- 認知症とは？.....2ページ
- 認知症の予防につながる習慣.....3ページ
- 認知症に早く気づくことが大事！.....4ページ
- 「自分」でできる認知症の気づきチェックリスト.....5ページ
- 認知症になるとどのような生活になる？.....7ページ
- 認知症の人を支えるために.....8ページ
- こんな時はどこに相談したらいいの？.....9ページ

東京都 現行版

とうきょう認知症ナビの再構築

令和7年度予算額：14,960千円

- 「新しい認知症観」を基本コンセプトにして見直し
- 「東京都認知症施策推進計画」を踏まえて、都の認知症施策や各種コンテンツを体系的に整理
- 認知症のある当事者・家族のご意見をいただきながら当事者の視点を反映
- 認知症のある人を含む全ての人にわかりやすい、情報を探しやすいホームページにリニューアル



リニューアル後のイメージ

【新規】 民間団体と連携した認知症家族介護者へのピア相談事業

令和7年度予算額：13,085千円

認知症のご家族を介護しているあなたへ。
介護の悩み、ひとりで抱えていませんか？

認知症介護の電話相談

介護経験のある相談員が、
あなたの不安やつらい気持ちをお聴きします。



認知症家族介護者へのピア電話相談窓口のご案内

☎ **03-6380-8038**

相談無料（通話料のみご負担ください）

申込不要



毎週 月・木・土
10:00~15:00

（祝日、年末年始を除く）

詳しくは、福祉局ホームページをご覧ください。

https://www.fukushi1.metro.tokyo.lg.jp/zaishien/ninchishou_navi/soudan/pia/index.html

福祉局 認知症ピア相談



一人ひとりと生きるまち。 東京都

【概要】

認知症のある人の家族介護者が心理的に孤立しないように、家族介護の経験がある人が相談員として対応する電話相談を実施

【開始日】

令和7年9月1日

【相談日時】

毎週 月・木・土曜日（祝日、年末年始を除く）
午前10時00分から午後3時00分まで

【対象】

都内の認知症のあるご家族を介護している方

【相談内容】

認知症のあるご家族の介護で、悩んでいることや不安なことなど



R7 予算額：7,589 千円

東京都

地域において認知症サポーターを活用した支援の仕組みづくりを担う人材を育成し、認知症サポーターの活動を促進

1 チームオレンジ・コーディネーター研修の実施

チームオレンジ※1の立ち上げや運営支援等を行うコーディネーターやチームリーダー等に対し、チームの運営等に関する研修を実施

※1 認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症のある人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み

<講師> オレンジ・チューター※2等

※2 厚生労働省が実施する養成研修の修了者

<規模> 年2回・160人程度

2 チームオレンジの設置に取り組む区市町村へのアドバイザー派遣

チームオレンジの立ち上げや活動の支援のため、希望する区市町村にオレンジ・チューターをアドバイザーとして派遣し、現場訪問やオンライン相談により助言等を行う。

チームオレンジ未設置自治体

①依頼

③オレンジ・チューターを
アドバイザーとして派遣

東京都

②調整

④報酬支払

オレンジ・チューター

区市町村

チームオレンジの整備・活動促進

【チームオレンジ三つの基本】

- ① ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
- ② 認知症の人もチームの一員として参加している。
- ③ 認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。

側面的支援

3 キャラバン・メイト養成研修の実施

区市町村や企業等が行う認知症サポーター養成講座の講師となる「キャラバン・メイト」を養成する研修を実施

<規模> 年5回・400人程度

4 認知症サポーターの活動促進に向けた支援

区市町村へのチームオレンジの普及啓発、先進的な取組の紹介等

「2050東京戦略」政策目標 及び「東京都認知症施策推進計画」指標

➤ 認知症サポーターが地域で活動するための仕組み（＝チームオレンジ）を全区市町村で創出

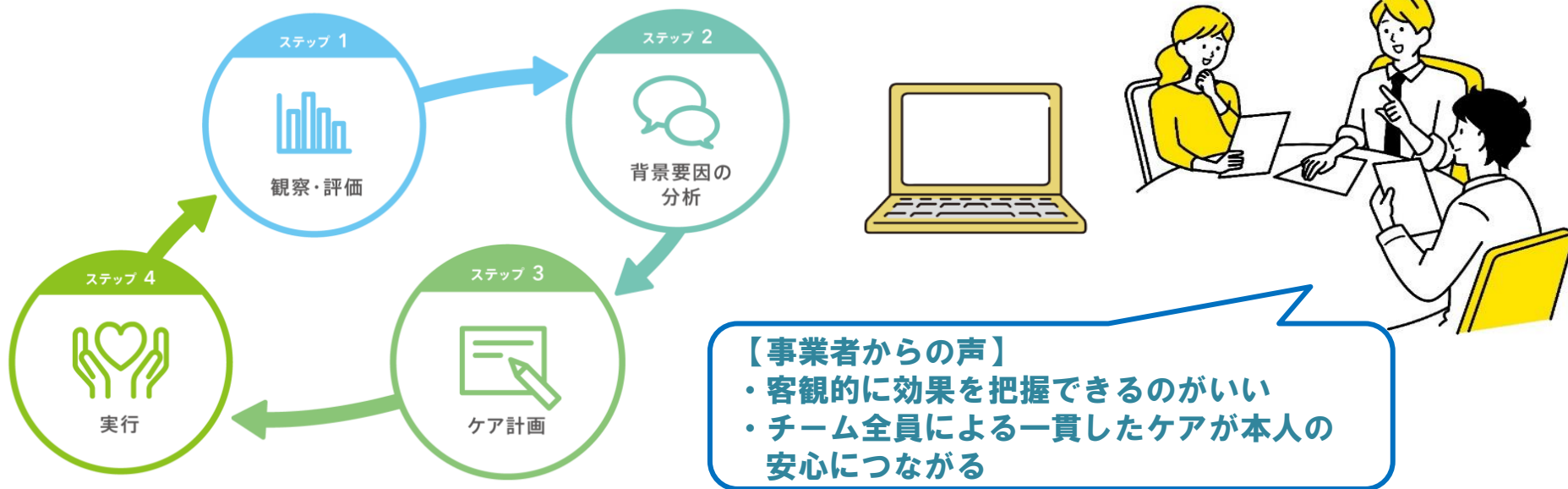
【目標】2025（令和7）年度：62区市町村

【実績】令和6年度末時点：36区市町村

R7予算額：32,927千円

<日本版BPSDケアプログラム>

- 東京都と(公財)東京都医学総合研究所が協働で開発
- **BPSD（妄想、幻覚、大声などの行動・心理症状）**は不安や焦り、恐怖等から生じることも多い
問題行動ではなく、周囲に自身のニーズを伝えるメッセージとしてとらえる
- ICTを活用して、**介護従事者等が認知症のある人の隠れたニーズを発見し、適切に対応できるよう支援**
- ケアスタッフがチームで話し合い、4ステップを繰り返し継続しながら、認知症ケアの質の向上を図る
- **アドミニストレーター養成研修（eラーニング240分）及びフォローアップ研修（オンライン研修120分×2回）**
※ eラーニングは「認知症チームケア推進加算」の要件である「認知症チームケア推進研修」とみなすことが可



「2050東京戦略」政策目標 及び「東京都認知症施策推進計画」指標

➤「日本版BPSDケアプログラム」を全区市町村に普及

【目標】2025（令和7）年度：62区市町村

【実績】令和7年9月時点：53区市町村

1 現状

- 単身高齢者の増加により、主治医がいない方等の地域包括支援センターでの対応が難しい事例が増加
- 地域包括支援センターでの対応が難しい状況となる前に、必要な方が適切な支援につながるためには、日常的に地域包括支援センターと認知症サポート医が連携していることが不可欠
- 地域包括支援センターと連携して活動する認知症サポート医を「とうきょうオレンジドクター」に認定しており、今後、さらなる連携促進を図ることが必要

2 事業内容

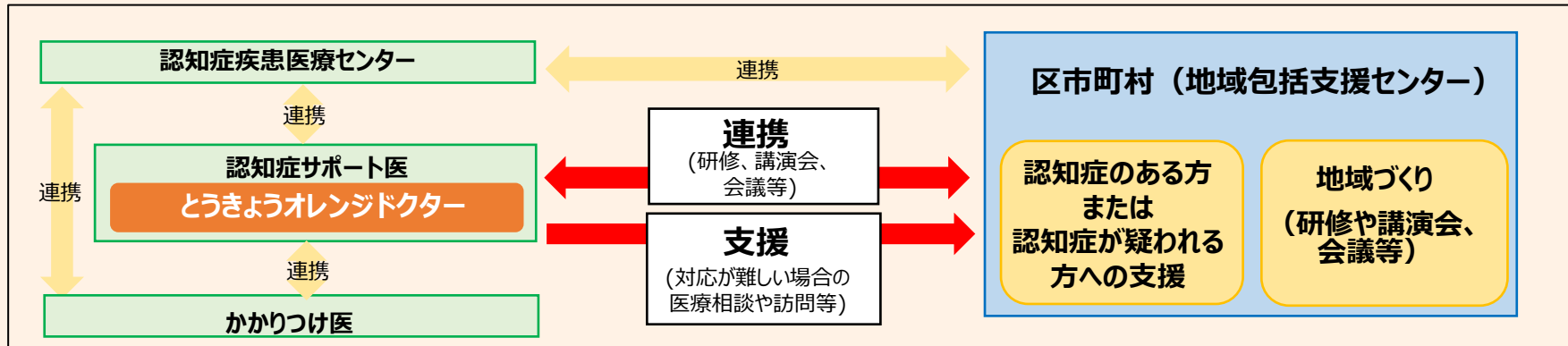
(1) 「とうきょうオレンジドクター」の認定・公表等

「とうきょうオレンジドクター」の認定・公表を行うとともに、リーフレットの作成や活動報告会の実施などの情報発信により活動を促進（R6年度認定者数：114名）

(2) 区市町村補助【R7新設】

「とうきょうオレンジドクター」に対し、区市町村が下記の依頼等を行う場合にかかる費用を支援

- ①研修や講演会、会議等への参加依頼等の日常的な連携
- ②地域包括支援センターでの対応が難しい場合の医療相談や訪問等の依頼



【補助率】 10/10 【補助基準額】 1 区市町村あたり 1, 185 千円 （規模想定：15 区市町村）

3 事業期間

令和6年度から令和8年度まで

4 令和7年度予算額

22, 192 千円